

〔前輪〕

1. リザーバタンクの外周のゴミ、汚れをきれいに拭き取り、異物がタンク内に落ちないように拭き取ります。
 2. ビスを外し、キャップとダイヤフラムを取外します。
 3. リザーバタンクの上限レベルラインまで指定ブレーキ液を補給します。
 4. ダイヤフラムの方向性とかみ込みに注意して、ビスでキャップを確実に締付けます。
- ・ブレーキ液の減り具合が著しいときは、ブレーキシステムの異常です。

〔後輪〕

1. サイドカバーを外します。(28ページ参照)
2. リザーバタンクの外周のゴミ、汚れをきれいに拭き取り、異物がタンク内に落ちないように拭き取ります。
3. ビスを外し、キャップとダイヤフラムを取外します。
4. リザーバタンクの上限レベルラインまで指定ブレーキ液を補給します。
5. ダイヤフラムの方向性とかみ込みに注意し

- て、ビスでキャップを確実に締付けます。
6. サイドカバーを取付けます。(28ページ参照)
- ・ブレーキの減り具合が著しいときは、ブレーキシステムの異常です。

《指定液》

ホンダブレーキフルードDOT3 またはDOT4

注意

- ・ブレーキ液を補給するときは、リザーバタンク内にゴミや水などが混入しないよう十分注意してください。
- ・化学変化を防止するため、銘柄の異なるブレーキ液を使用しないでください。
- ・ブレーキ液は塗装面をいたためるので、部品類に付着させないでください。付着させたら、すぐに拭き取ってください。
- ・上限レベルラインを越えて、ブレーキ液を補給しないでください。ブレーキ液がにじみ出る可能性があります。